



令和8年度 公開講座

「聞こえにくい」をほっとかない！ ～聞こえを大切にして コミュニケーションを楽しみましょう～

年齢とともに「聞こえにくくなったな」と感じることはありませんか？


聞こえにくさを感じたら、「諦めない」で早めに対応することが、よりよい聞こえや健康維持に大事です。聞こえを維持することは、介護予防、認知症予防につながり、生き生きとした暮らしを送ることにつながります。

本講座では、言語聴覚士の視点から、加齢による難聴について解説し、コミュニケーションが楽しくなるためのポイントなどを演習も取り入れながらご紹介します。

日時	令和8年 9月 5日(土) 9時30分～12時00分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 コミュニケーション障害学コース 教授 佐藤 紀代子 助教 今川 記恵
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館 4201 (三原市学園町1-1)
対象	聞こえにくさを感じているご本人・ご家族。 聞こえにくさのある方とのコミュニケーションに興味のある方、保健・福祉・医療の 専門職およびボランティア。 (高校生の受講も可能)
定員	20名
受講料	1,000円(高校生は無料)
申込締切	令和8年8月14日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120(平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和8年度公開講座「聞こえにくい」をほっとかない！～聞こえを大切にコミュニケーションを楽しみましょう～」

内容	1	加齢性難聴について理解を深める知識	佐藤 紀代子・今川 記恵
	加齢による難聴に関して、耳の構造や加齢による難聴を生じさせる原因、きこえの特徴、聞こえにくさを放っておくとどうなるのかなど、基本的な解説を行います。また、コミュニケーションを行う上での配慮などについて講義します。		
	2	聞こえにくさの体験	佐藤 紀代子・今川 記恵
	聞こえにくいとは、具体的にどのくらいの音が聞こえないと、会話に困るのでしょうか？機械を使って測定しながら演習してみます。		
	3	聞こえにくさを補う補聴機器（補聴器と人工内耳）	佐藤 紀代子・今川 記恵
聞こえにくさの程度によっては、補聴器や人工内耳を使って聞こえを補うことになります。これらは、具体的にどのようなものか、解説するとともに、実際に手に触れて、試聴を経験して、演習してみます。			
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。 ・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違うと感じる場合、出席をご遠慮ください。 <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。 https://forms.cloud.microsoft/r/5VhefW4V9F</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター